【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公開番号】特開2013-238802(P2013-238802A)
【公開日】平成25年11月28日(2013.11.28)
【年通号数】公開・登録公報2013-064
【出願番号】特願2012-113162(P2012-113162)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　17/56　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　17/56　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年12月8日(2014.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
前記移動レンズ群移動量算出手段に替えて、
前記ズームカム筒の回転角度を検出する角度検出手段と、
前記ズームカム筒の回転角度と前記ウェイトの移動すべき位置との関係を記憶する記憶手段と、を備え、
前記ウェイト駆動手段は、前記角度検出手段により検出されたズームカム筒の回転角度に基づいて前記記憶手段から対応する前記ウェイトの移動すべき位置を読み出し、読み出した位置に前記ウェイトを移動させる請求項３に記載のテレビレンズ装置のカウンターウェイト装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明は、前記移動レンズ群移動量算出手段に替えて、前記ズームカム筒の回転角度を検出する角度検出手段と、前記ズームカム筒の回転角度と前記ウェイトの移動すべき位置との関係を記憶する記憶手段と、を備え、前記ウェイト駆動手段は、前記角度検出手段により検出されたズームカム筒の回転角度に基づいて前記記憶手段から対応する前記ウェイトの移動すべき位置を読み出し、読み出した位置に前記ウェイトを移動させる形態とすることができる。